

教科名	美術	科目名	絵画（3年次）【4単位】	
授業形態	作品制作（油彩、水彩、デッサン、コラージュ等）・作品鑑賞			
選んでほしい生徒	絵画制作に興味があり、表現能力や作品の鑑賞能力を高めたいと思っている人。			
科目の目標	様々な表現形式による絵画表現によって、絵の具などの材料・用具の特性や、技法、陰影表現、色彩及び空間への理解を深め、豊かな表現力と主体的な鑑賞の能力を高める。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> それぞれの表現形式に必要な用具や技法の理解を深め、それらの特性を十分に生かしながら表現力を高める。 自分の感性を生かした独自の表現を追求することができる。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 <ol style="list-style-type: none"> トーンセパレーション (アクリル絵の具による人物画表現) 静物油彩 (油絵の具を使った静物画表現) 【2学期】 <ol style="list-style-type: none"> 自画像デッサン (素描による自画像表現) 自画像油彩 (油絵の具を使った自画像表現) 【3学期】 <ol style="list-style-type: none"> コラージュ画 (様々な材料を使用した抽象表現) 		<ul style="list-style-type: none"> 人物画の制作により、デッサン力、色彩感覚、画材に対する知識を深め、絵画の基礎を学習する。 自己の内面をしっかりと見つめながら、1学期の基礎を生かしたより深い絵画表現を追求する。 画家の作品研究や鑑賞を行う。 様々な画材や、抽象表現を理解し表現する。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現を工夫して表している。	・美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
上記の観点を踏まえ、各学期とも評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 授業作品の充実度や完成度を重視するので、休まず授業に出席して、制作に専念する姿勢が大切である。 色彩豊かに、オリジナリティあふれる表現を心がけたい。 画材道具の名前や用途、効果をしっかり把握して、様々な技法を体験しながら表現力を高めたい。 			
教材費	4,800円			
その他	美術系の進学にも役立つとともに、絵を描くことや鑑賞することを学び楽しむための授業である。			